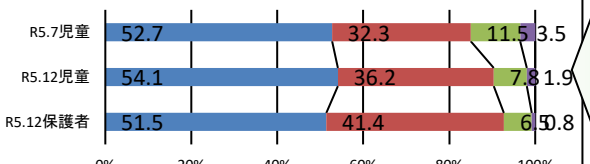
令和５年度　清水小学校の教育　《診断編》

笑顔輝く　日本一の学校

～元気な挨拶、明るい笑顔、子どもの歓声が共鳴する学校～

■ よく当てはまる
■ だいたい当てはまる
■ あまり当てはまらない
■ ほとんど当てはまらない

Q1. 学校は楽しいですか。（言っていますか。）

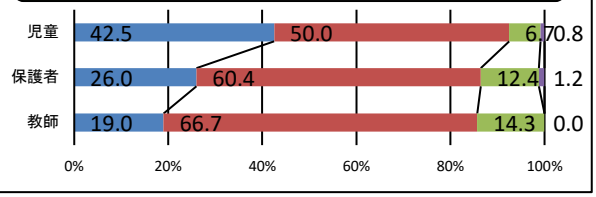


学校は子どもが「楽しい」と思える、安全･安心な場所でなければならない。アンケートでは、肯定的な回答が７月より約５ポイント上昇している。新型コロナの分類が５類に移行し活動に制限なくなったことや、教師が「分かる・楽しい」授業づくりを心がけたことなどが考えられる。また、良好な人間関係の構築を図る学級経営の充実も挙げられる。今後もすべての子どもに居場所があり、明るい笑顔で「学校は楽しい！」と実感できる学校づくりに努めていく。

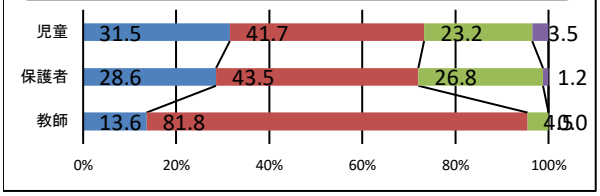
しっかり学ぶ　～かしこく～

［教師の設問］　Q2. 子どもたちが分かる授業づくりをしている。
Q3. 自分の考えを発表する授業づくりをしている。
Q4. 家庭学習が習慣づくようにしている。

Q2. 学校の勉強はよく分かりますか。（言っていますか。）



Q3. 自分の考えを発表していますか。（言っていますか。）



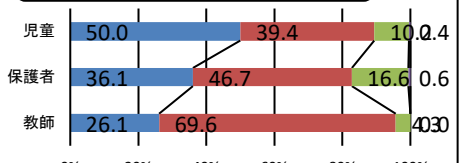
Q4. 目安の時間、家庭学習をしていますか。

「勉強はよく分かる」の設問で肯定的な回答をした子どもは約９３％であった。保護者・教師の肯定的な回答はそれよりもやや低いが、教師は評価を厳しくしがちであることを考えると、子どもが「分かる喜びを味わえる」授業改善に努めていることが覗える。今後も、「分かる授業づくり」に取り組んでいきたい。また、交流活動の制限がなくなり、「自分の考えを発表している」と回答した子どもは昨年度に比べ増加した。今後も思考力・判断力・表現力を高める学習過程の工夫が必要である。家庭学習の取組は、教師の働きかけに反し厳しい結果となった。子どもが必要性を感じ意欲をもち取り組める工夫や、家庭と連携した取組を図っていく必要がある。

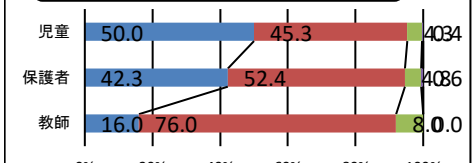
みんな笑顔　～やさしく～

［教師の設問］　Q5. 教師から挨拶し、根付くようにしている。
Q6. 思いやりの心が育むようにしている。
Q7. 読書好きになるように工夫している。

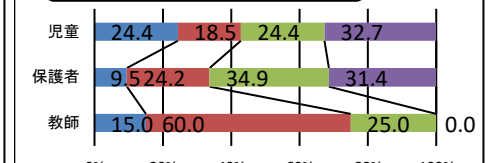
Q5. 元気よく挨拶をしていますか。



Q6. 誰にでもやさしくしていますか。



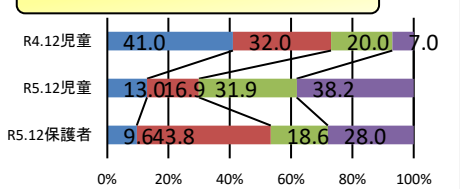
Q7. 家で読書をしていますか。



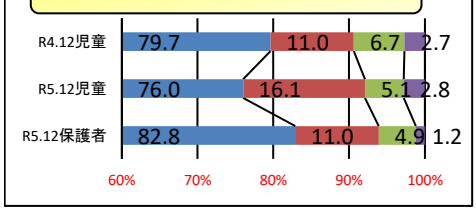
教師が率先して「爽やかな挨拶」を心がけ、挨拶をすることに取り組んできた。児童会や学級でも挨拶運動に取り組んだ成果もあり、「挨拶」は、８０％を超える子ども・保護者が肯定的な回答をしていた。今後は、誰にでも自然に挨拶ができるよう取組を進めていきたい。「家読」をしている子の割合が５０％を切る結果となった。学校では朝読書やブックバンク、隙間時間での読書などの取組により、可能な限り本に触れる機会設けているが、家読に繋がっていないことが覗える。取組を精査・検討し、家庭と連携して「家読」が習慣づくように努めていきたい。

ずっと元気　～たくましく～

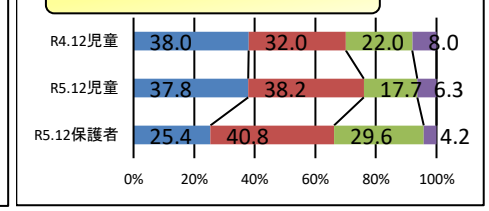
Q8. 早寝･早起きをしていますか。



Q9. 毎日朝ごはんを食べていますか。



Q10. 毎日運動をしていますか。



「早寝・早起き」をしている割合が大きく減少した。スクリーンタイムの増加による生活習慣の乱れが一因と考えられる。メディアアンケート結果を基に改善策を検討し、働きかけていきたい。一方、「毎日運動をしている」割合が６ポイント上昇しており、運動を楽しく感じる体育の授業改善や運動に親しむ環境づくりの成果が表れてきたと考えられる。体力や健康は全ての活動のベースとなる。そのためには「早寝・早起き・朝ごはん」や「運動」を基本とした望ましい生活習慣を身に付けることが大切である。家庭と連携し、取組を進めていく必要がある。